

IVI公開シンポジウム2018 – Autumn

先進技術の最新動向

IoTと管理会計の融合による価値形成

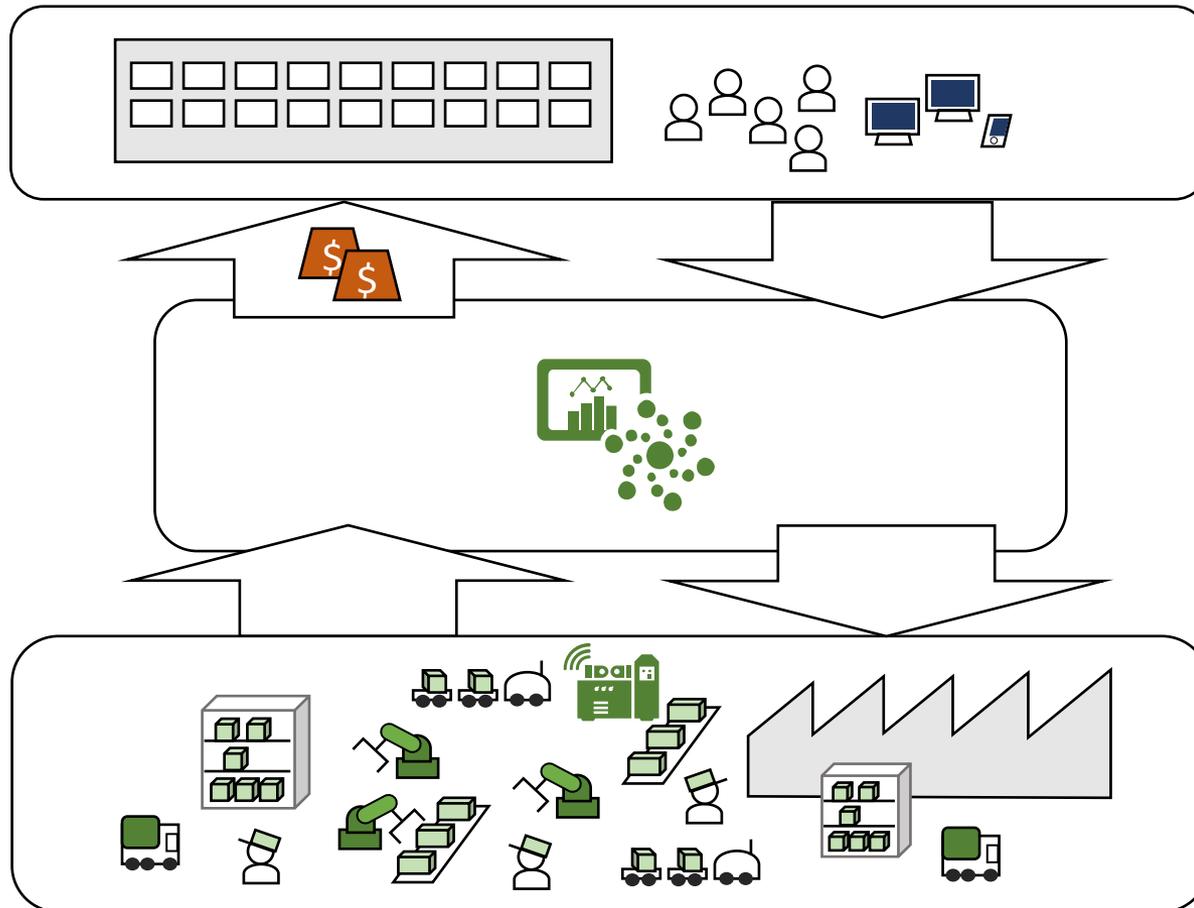
IVI

主査 高鹿 初子(富士通)、西岡 靖之(法政大学)、前田 智彦(富士通)、林 英夫(武州工業)、
町田 武範(武州工業)、兼子 邦彦(小島プレス)、大島 啓輔(小島プレス)、安藤 拓也(丸和電子化学)、
成瀬 優一(丸和電子化学)、浅野 大雅(リコー)、角谷 好彦(富士ゼロックス)、鳥居 陽一郎(タイテック)、
軽海 菜美(タイテック)、松岡 康男(東芝)、佐野 弘(ウイングアーク1 s t)、大内 利明(ウイングアーク1 s t)、
木下 貴美子(アビームコンサルティング)、吉村 正平(エコノサポート)、浦野 雅輝(ニコン)、窪田 敦之(日立)
木下 裕次(ケイエステック)、永森 久之(錦正工業)、森 一博(荏原製作所)、迫坪 卓(東レエンジニアリング)
大久保 精之(住友電設)、山本 博士(I H I)、田中 孔浩(日本ガイシ)

日本原価計算学会

尾畑 裕(一橋大学)、河合 久(中央大学)、片岡 洋人(明治大学)、王 志(上智大学)、
柊 紫乃(愛知工業大学)、岡田 幸彦(筑波大学)、貫井 清一郎(日立)、福山 倫基(東京富士大学)、
曾根 健一郎(一橋大学)、筑波 由美子(一橋大学)、原 慎之介(名古屋外国語大学)、
井上 慶太(成蹊大学)、櫻井 康弘(専修大学)、中原 國尋(株レキシコム、公認会計士)

現場作業をボトムアップ兼リアルタイムで原価把握し、企業の収益に貢献するしくみを研究します。



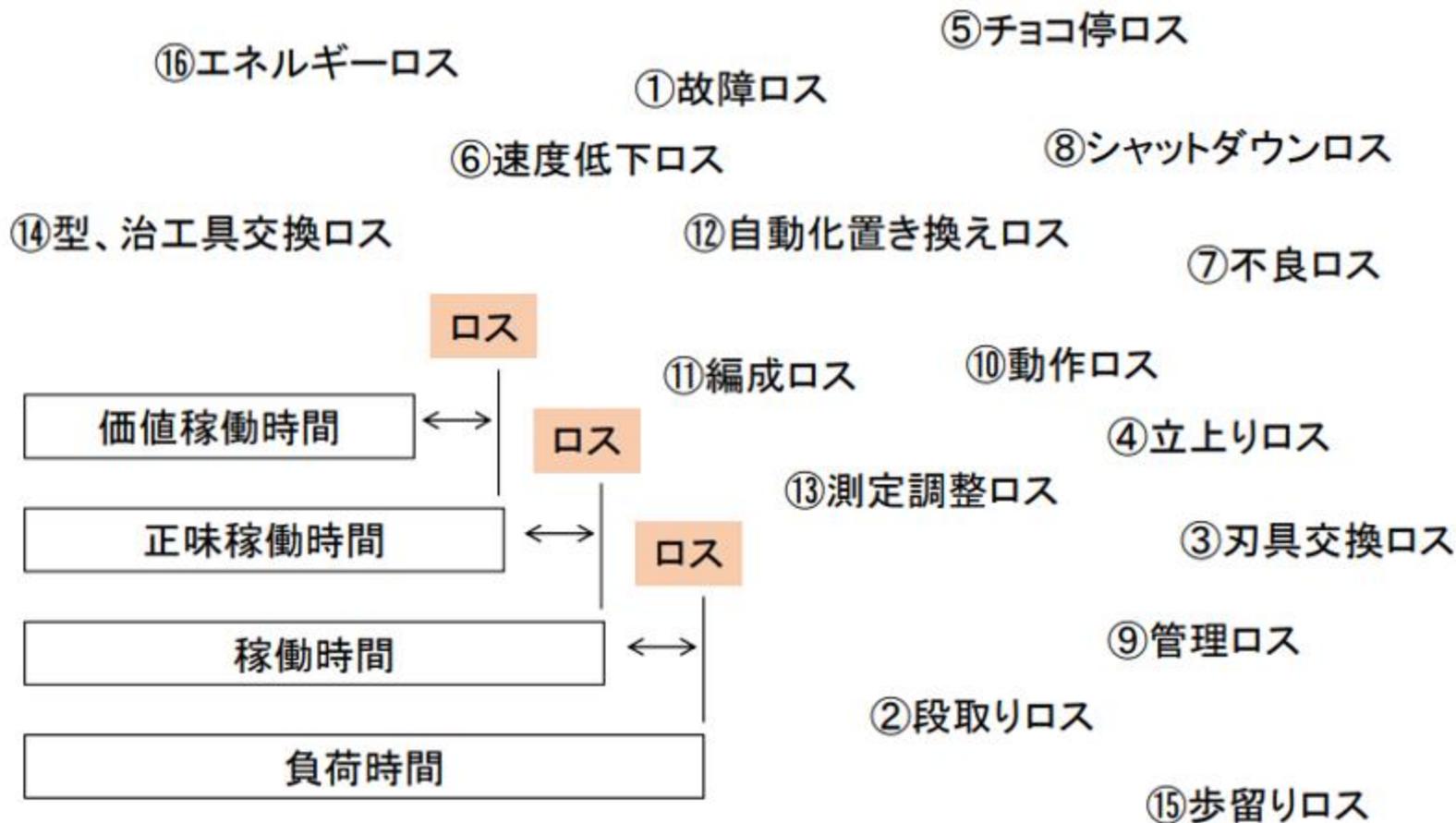
現場で集めたデータから
企業の収益に貢献
どういう部分で貢献できるか？

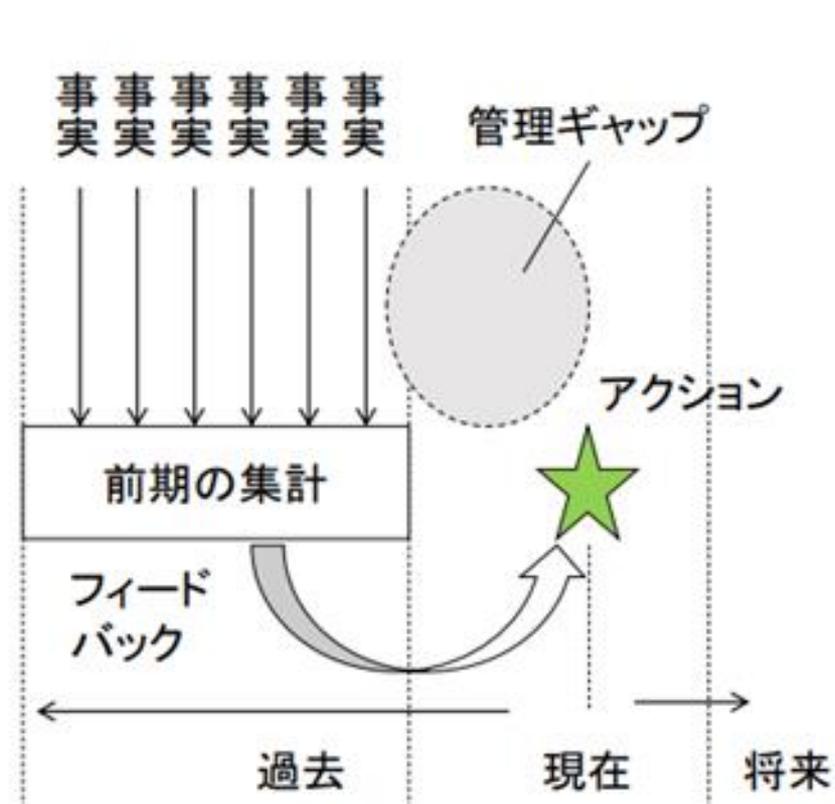
集めたデータを集計・分析

現場でIoTでデータを集める

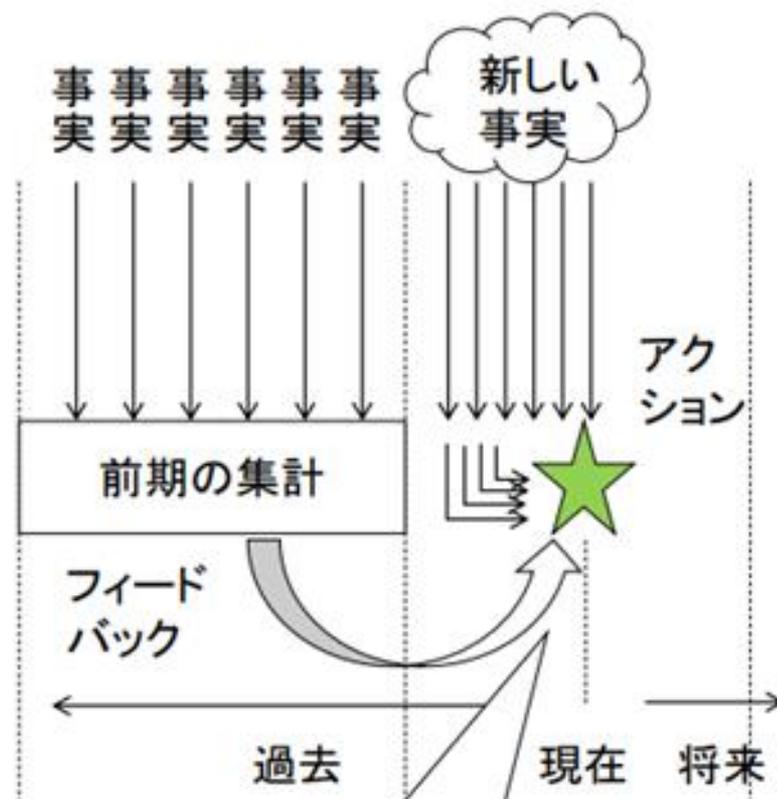


投入した価値（実際の価値）と原価





財務会計の目的は？
過去の企業活動を正當に把握して
第三者に説明



最新のデータで常に
基準値を更新する

判断→カイゼン



リアルタイムに状況を反映する見積原価のニーズ
意思決定（ex. 外製・内製）
生産プロセスの改善の製品原価への反映

変化のすべてをリアルタイムで反映させる必要はない。
リアルタイム性がとくに要求されるのは直接材料や直接作業時間
調達価格の変動の即時的な反映、消費能率の漸進的な向上などは、速やかに製品原価情報のなかに取り込む必要がある。

経営者が注目したい部分、
経営者が従業員に注目してもらいたい部分で日々の作業のなかで変化する部分

改善可能な部分についてのみリアルタイムに実績を反映させ、その他は
中長期的に固定してもよい。



日本原価計算研究学会

原価計算の理論および実践の研究を促進し、
原価計算の進歩と発展に貢献するとともに、
会員相互の交流を図る。

2017年度

武州工業のご協力を得て実証実験
スマホを活用して機械の稼働数を測定

伝統的な原価計算では、作業時間についての情報は、特定の製造指図書や製品種類ごとに月次で集計されるにすぎず、1個ごとの時間が把握されているわけではなかった。

IoTの活用により、1個ごとのデータの分布や分散が明らかになる。

機械の稼働データだけからではわからないこと

→ **機械の稼働中断理由から必要な中断、ムダな中断**を知って対策

- 経営者が知りたいこと
- 作業者が知ってカイゼンすること



IVI 28名

西岡 靖之(法政大学)	窪田 敦之(日立)
高鹿 初子(富士通)	木下 裕次(ケイエステック)
前田 智彦(富士通)	永森 久之(錦正工業)
林 英夫(武州工業)	森 一博(荏原製作所)
町田 武範(武州工業)	迫坪 卓(東レエンジニアリング)
兼子 邦彦(小島プレス)	大久保 精之(住友電設)
大島 啓輔(小島プレス)	山本 博士(IHI)
安藤 拓也(丸和電子化学)	田中 孔浩(日本ガイシ)
成瀬 優一(丸和電子化学)	
浅野 大雅(リコー)	
角谷 好彦(富士ゼロックス)	
鳥居 陽一郎(タイテック)	
軽海 菜美(タイテック)	
松岡 康男(東芝)	
佐野 弘(ウイングアーク1st)	
大内 利明(ウイングアーク1st)	
木下 貴美子(アビームコンサルティング)	
吉村 正平(エコノサポート)	
浦野 雅輝(ニコン)	

太字は昨年からの参加者

日本原価計算学会 14名

尾畑 裕(一橋大学)
河合 久(中央大学)
片岡 洋人(明治大学)
王 志(上智大学)
柗 紫乃(愛知工業大学)
岡田 幸彦(筑波大学)
貫井 清一郎(日立)
福山 倫基(東京富士大学)
曾根 健一郎(一橋大学)
筑波 由美子(一橋大学)
原 慎之介(名古屋外国語大学)
井上 慶太(成蹊大学)
櫻井 康弘(専修大学)
中原 國尋(株レキシコム, 公認会計士)

太字は昨年からの参加者



2018年度の活動

「武州工業」、「丸和電子工業、小島プレス（4E02と連携）」での実証実験を予定



2018年度初回会合



武州工業での会合



夏合宿（丸和電子工業+小島プレス）





ご清聴ありがとうございました

